

事業所名

リハビリクスセンターおゆみ野

## 支援プログラム

作成日

2024 年

7 月

23 日

法人（事業所）理念		支援を必要としている子どもたちが日々の暮らしの中で、当たり前のように教育的リハビリテーションを受けられる世界を構築する。					
支援方針		個に応じた質の高いサービスを広く地域に普及することを目指して、専門職を中心に「チームアプローチ方式」を取り入れて、一人ひとりのお子さまに対して手厚きめ細かな支援を実現する。					
営業時間		9 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・医師の指示書に基に安全に浣腸、口腔内喀痰吸引、鼻腔内喀痰吸引、経鼻経管栄養、カフアシスト等を行い、各種活動に参加できるようにします。					
	運動・感覚	・座位保持や両膝立ちを通して、正しい体の力の入れ方を学びます。 ・リラクゼーションを通して、腰背部や肩・股関節の緊張を緩めていきます。 ・椅坐位では、骨盤を立てて腰回りが使えるように促していきます。					
	認知・行動	・五感（嗅覚・聴覚・視覚・触覚・味覚）へのアプローチを通して物を知り、苦手意識の解消に努めます。					
	言語 コミュニケーション	・本児が表現する意思表示を、目つき・表情・手や身体の動きから察知し、待つ支援を中心に本児の可能性を引き出します。					
	人間関係 社会性	・お友だちと過ごす、スタッフと過ごすことから、他者と触れ合う機会を作りながら社会性を広げていきます。 ・可愛がる支援と就学に向けての待つ支援にも取り組んでいきます。					
家族支援		・ご家族が安心して子育てに取り組めるように、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、子育てに対する困りごとに対する相談援助。		移行支援		・保育所や学校との連携を図り、保護者の意向も確認しながら進める。	
地域支援・地域連携		・「地域に広がる輪」を目指し各関係機関、相談事業所の相談員、幼稚園保育所の担当保育士、学校の担当教員と積極的に連絡調整を行っていく。 ・相互間の見学会には積極的に参加していく。		職員の質の向上		・緊急時の対応、子どもの支援に関して、摂食訓練、避難訓練等各種定期的に行っている。また、外部で行われる研修にも積極的に参加しています。	
主な行事等		・定期的な避難訓練、七夕コンサート、クリスマス会、新年会、保護者会、チャリティーバザー等を予定している。					